

コレクションの種類

1. リスト(list)

いわゆる、言語では"配列"のこと COBOLだとテーブルかな？

ブラケット"[]"でくくる。

```
list = ["1","2","3","a","あ","a","1"]
```

特徴；追加、削除など変更が可能（ミュータブル）

append, remove, pop

2. タプル(tuple)

リストと異なり イミュータブル(変更不可)

括弧"()"でくくる。

```
tuple = ("a","b","c","a")
```

3. 集合型(set)

重複しないリスト

ブレース"{}"でくくる。

```
set = {"1","2","3"}
```

⇒集合に用いる(和、積、排他的論理和など)

4. 辞書型(dict)

キー付きのリストで、キー部とデータ部で構成される。

ブレース"{}"でくくる。

```
dict = {"kubota":01,"furukawa":02,"li":03}
```

コレクションのネスト

```
collection = [("a","b","c","a"), {"1","2","3"}, {"kubota":01,"furukawa":02,"li":03}]
```

リストの部分参照

`list[0:3]`

⇒先頭から3つの要素を参照

`list[:3]`でも同じ

`list[4:]`

⇒四番目から最後の要素を参照